

二回戦（準決勝）

岩手3 (0-3) 3 盛農

（岩手抽選負け）

盛農との試合でこれでは駄目だと部員一同今まで以上に練習に励み、次回の高体連予選に備えた。試合はリーグ戦で行なわれ、岩手盛工、一高の三校が決まった。

前期中間考査も終わり再び、打倒盛工を目指し、チーム・ワークをがっちり生かす猛練習となつた。FWとバックスの連結も良くなり、六月二十七日から二十九日まで黄金で行なわれた高体連に臨んだ。一回戦に盛一と対戦し、練習試合に勝つたゆるみもあつたためか、予想もしない敗戦となつた。

岩手15 (5-10) 18 盛一

もつとも伝統を誇る我ラグビー部を、今年こそは我々の手で復活させようと部員一同、はりきつて春の強化合宿に入った。練習は校庭で、瀬川先輩にコーチしてもらつた。今年はオリンピックの年であり、それも東京で行なわれることになり、ラグビーも、大会のスケジュールが大はばに変つた。そして今年一年の勝負運を占うべく、第十九回国体県予選が四月十一日から十三日まで、黄金ラグビー場で行なわれた。結果は次の通りである。

一回戦

でもいつもの調子が出ず、又しても抽選負けとなつた。

岩手6 (3-3) 6 盛一

どうしても我ラグビー部にはチャンスをものにする一押しがないことが、最大の敗因である。最後の機会は、十月にある。県民体育大会兼全高校ラガーラー達の憧れの的である、全国大会予選が残るのみであった。三年生の最後の試合でもあるので、色々と技術の面でも研究し合い、練習方法も色々変えた。直接試合に結びつける練習が主であった。ついに運命の十月三十一日と十一月一日両日の大会が来た。一回戦は釜石北高と対戦することになり、選手一同はりきついていたが不戦勝となりなんだか出ばなをくじかれたような変な気持になってしまった。それが二回戦の黒工の試合に大影響を及ぼすとは夢にも思わなかつた。黒工との試合は今までかつてないほどの動きの鈍い悪い試合だった。黒工の強力なFWに完全にペースを巻き込まれてしまい岩高得意のバックスを生かすことが出来ず大敗した。

岩手34 (1420-10) 0 岩谷堂

岩手34 (1420-10) 0 岩谷堂

ユラ一が故障し、補欠が二人出た。この大会にはレギ

岩高0 (0-2022) 42 黒工

この一試合にかけて激しい練習を積んで来たのに、遂に勝利の女神が我々を見捨ててしまつた。

この一年を振り返つて見ると、大会にゐるわなかつた原因は、技術は他校に劣らなかつたが、しかしやはり精神力の面で多少、劣つていたと思う。

だから、後輩の諸君はこういう点をマスターし、自信を持つてプレーをするよう、練習に励み、もう一度我々が出来なかつた岩高ラグビー部再興に尽していただきたい。

最後に、これまでに育ててくれ、御指導して下さった、戸嶋先生始め、先輩諸氏に厚く御礼申し上げます。

今年のメンバー

顧問 戸嶋正夫先生 主将 小笠原秀孝

F W T B

1	武藏 槟	②	11	二上憲育	③
2	桜井新三	②	12	戸嶋憲久	③
3	佐藤敏彦	②	13	細越好範	②
4	熊谷憲治	②	14	小山正春	③
5	小野寺幹夫①	①	15	大家雄一	②
7	藤沢 昇	②			補
8	四戸和男	③			

須藤一憲
② ①

H・B

9 小笠原秀孝③
10 小枝指誠 ③

難波保夫
長沼正知
人見直行
川口 広
桜糸 博
内村輝夫

（小笠原記）

川口 広
① ① ① ①

長沼正知
人見直行
人見直行
人見直行

長沼正知
人見直行
人見直行
人見直行